


武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	災害ボランティア運営体制整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	協働推進 部	協働推進 課	協働推進 係 内線 242
	根拠法令等	—		
目的	大規模な災害が発生した場合に、円滑な応援活動が行えるよう、社会福祉協議会、ボランティア・市民活動センター及び本市の三者で災害ボランティアセンターの設置に備える。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルを整備し、有事の際の設置に備える。また、マニュアルの内容に基づいた設置訓練等を実施し、効果的な災害ボランティアセンターの運営・活動の在り方を検討する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	災害ボランティアセンターマニュアルに基づく訓練の実施	回	目標	実施	実施
			実績	未実施	未実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		0	0	2	
財源内訳	一般財源	-	-	2	
	国都支出金	-	-	0	
	その他	-	-	0	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)	1,462	784	859	
人件費	所要人員(人)	0.19	0.10	0.10	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		1,462	784	861	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
今後の事業運営の参考とするため、訓練の実施に代えて、セミナー「災害ボランティアセンターの運営に伴う今後の課題を知る」を実施し、市民とともに、他自治体における災害ボランティアセンターの設置運営経験者から話を伺った。	実際に災害ボランティアセンターの設置・運営を実施した経験がないため、有事の際に円滑に活動できるよう他自治体の経験者からの体験談や、研修会等への参加を通じて、シミュレーションをしていく必要がある。 また、都内社会福祉協議会では、災害ボランティア管理用デジタルツールの活用に向けた取組が行われていることから、これを取り入れた訓練等を実施していく必要がある。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
引き続き、有事の際に備え、災害ボランティアセンターの設置訓練を行い、社会福祉協議会、ボランティア・市民活動センター及び本市の三者で反省点や改善点等を確認・共有するとともに、その結果も踏まえてマニュアルや訓練内容の見直しを適宜行っていく。	(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	樹木健全度判定委託事業（学校）			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策			
	所管部署	教育 部	教育総務 課	教育施設 係	内線 452
	根拠法令等	—			
目的	各小中学校の敷地内の樹木は、開校当時に植木しているものも多く、老齢化等により衰弱しているものがあることから、樹木健全度判定調査を実施することにより現状を把握し、災害による倒木被害の未然防止を図る。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	調査対象樹木を全件外観診断し異常が認められた樹木を対象に、機器による詳細診断を行い樹木の健全度を判定する。				

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	外観診断、詳細診断実施数	本
			実績	106	52	
			達成率	100%	100%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		1,166	1,815	2,000	
財源内訳	一般財源	1,166	1,815	2,000	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	462	470	515	
	所要人員（人）	0.06	0.06	0.06	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,628	2,285	2,515	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		
		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
効率性	市民との協働により事業を実施しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	
効果性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●小・中学校樹木健全度判定委託 1,815,000円 外観診断：0本 詳細診断：52本	小中学校の樹木は、場所により周辺からの目隠し、防風、防砂及び防音等の効果もあるため、判定結果により伐採木が多くなると新たに近隣対策の検討を要する。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 倒木は児童・生徒、学校関係者及び近隣住民等の人命や財産を損なうおそれがあり、未然に防ぐために伐採するなどの対策が必要であることから、樹木の健全度判定調査を行い、必要な措置を講じていく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	木造住宅耐震改修等助成事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	武蔵村山市木造住宅耐震改修等補助金交付要綱		
	目的	地震発生時における市民の住環境における安全性の向上を図り、市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	昭和56年5月31日以前に建築に着手された一戸建の木造住宅に対する耐震診断及び耐震改修又は簡易耐震改修に係る費用の一部を助成する。			
対象(交付先)	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	助成件数(耐震診断)	件
			実績	0	2	
			達成率	0%	40%	
2	助成件数(耐震改修等)	件	目標	2	3	3
			実績	0	0	
			達成率	0%	0%	

事業経費				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
補助金	交付金額(千円)	0	190	3,500	市民・議会等から寄せられた意見 令和7年度予算編成に対する要望事項として、助成制度の継続と周知の促進の要望があった。	
	一般財源	-	100	910		
	国都支出金	-	90	2,590		
	その他	-	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	77	235	258	他市等の状況 多摩地域26市全市で耐震改修等の補助事業を実施している。補助上限額は、各市で30万円から120万円となっている。	
	所要人員(人)	0.01	0.03	0.03		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)		77	425	3,758		

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
収入	総額(千円)	0	0	0	交付団体等の令和6年度の市補助金の使途 交付金額(千円) 190 耐震診断 190	
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
支出	総額(千円)	0	0	0	使途内訳 割合(%) 団体収入に占める補助金の割合 — 団体収入に占める繰越金の割合 — 交付金額に対する繰越金の割合 —	
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	効果性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	類同性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
類似の補助金との統合は可能か		<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
耐震診断助成2件、耐震改修助成0件となった。	住宅の耐震改修は、補助率を事業費の1/2とし、上限額を30万円から100万円に増額し補助の重厚化を図ったが、補助を行ったとしても市民に多額の負担が発生することもあり、耐震診断後、改修に至る件数は少数となっている。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
助成件数を増加させ、住宅の耐震化を推進するには、助成事業の存在や住宅耐震化の必要性に関する広報を実施していくほかに、本事業の更なる充実化が必要であると思われるが、国及び都の補助金は、補助率及び上限額が定められており、一般財源の支出を増やさない限り、事業の充実化を図ることは困難である。			
昭和56年5月31日以前に建築工事に着手された旧耐震基準の木造住宅を対象として、「武蔵村山市第二次耐震改修促進計画」に定めた目標の達成に向け、令和7年3月の「武蔵村山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」の策定により、令和7年度から補助金の大幅な増額を実現するとともに、都費による障害者等加算が開始されたこともあり、総合的に事業内容の充実化を図ったところである。今後、対象建築物の所有者に対し啓発リーフレットを送付し、制度の周知促進を図る。			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	ブロック塀撤去工事等助成金交付事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	総務部	防災安全課	災害対策係 内線 335
	根拠法令等	令和7年度武蔵村山市ブロック塀等安全対策費用助成金交付要綱		
	目的	地震発生時における市民の安全の確保及び災害に強いまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	避難路に面している危険なブロック塀等を安全な状態にするために行うブロック塀等の撤去、建替工事に係る費用の一部を助成する。			
対象（交付先）	市民			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	助成件数	件
			実績	3	3	
			達成率	30%	30%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
補助金	交付金額（千円）	1,756			3,271			5,330				
	一般財源	441			820			1,340				
	国都支出金	1,315			2,451			3,990				
	その他	0			0			0				
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	924			940			1,030				
	所要人員（人）	0.12			0.12			0.12				
	会計年度任用職員（千円）	0			0			0				
	所要人員（人）	0.00			0.00			0.00				
合計（補助金+人件費）		2,680			4,211			6,360				

市民・議会等から寄せられた意見

- 過去の市議会において、本事業に関する市としての前向きな取組を期待する旨の発言があった。
- 令和7年度予算編成に対する要望事項として、助成制度の継続と周知の促進の要望があった。

他市等の状況

多摩地域の複数の市で同様の事業を実施している。

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
収入	総額（千円）	0			0			0				
	市補助金	-			-			-				
	会費	-			-			-				
	繰越金	-			-			-				
	事業収入	-			-			-				
支出	総額（千円）	0			0			0				
	交際費、飲食費	-			-			-				
	人件費	-			-			-				
	事業経費	-			-			-				
	その他	-			-			-				

交付団体等の令和6年度の市補助金の使途

交付金額（千円）	3,271
使途内訳	
割合（％）	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある
	効率性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
	持続性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない
	類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
助成件数：3件	補助率を事業費の2/3とし、ブロック塀1mあたり、最大で8万円の補助を行っているが、ブロック塀の撤去や建替えには市民の費用負担が発生することもあり、助成件数は少数となっている。 また、市内における倒壊のおそれのあるブロック塀の実態については未把握であり、事業の目標値を設定することや、該当する住宅の所有者等に対する周知も困難な状況である。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、武蔵村山市地域防災計画に基づき、避難路に面しているブロック塀等の倒壊防止対策を図るために行うものである。 これまでも本事業に関する周知や、倒壊のおそれのあるブロック塀の撤去等の必要性に関する広報を実施しているほか、通学路点検等で判明した危険と思われるブロック塀がある住宅については、ポスティング等を行い所有者への周知を図っている。一方で、市内全域のブロック塀に関する実態は未把握のため、該当する住宅の所有者等に対する個別の周知は実施していない。 今後も、現行の助成事業を継続するとともに、市内のブロック塀に関する実態調査や、その調査結果を踏まえた上での個別周知について検討していく必要があると考える。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減	維持	増加
向上			
維持		○	
低下			

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	福祉避難所運営事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	健康福祉 部	障害福祉 課	業務 係 内線 642
	根拠法令等	武蔵村山市指定福祉避難所備蓄物資購入等補助金交付要綱		
	目的	市が災害対策基本法に基づく福祉避難所として指定した施設に対し、要配慮者に適した備蓄物資及び備品の購入費用等の一部を補助することにより、要配慮者の避難生活の支援を図ることを目的とする。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	指定福祉避難所の指定を受けた施設に対し、指定福祉避難所の運営上必要となる経費、個室の整備に必要となる経費、要配慮者の特性に応じて必要となる経費、備蓄物資及び備品の保管に必要となる経費の一部を補助する（1施設当たり100万円を補助上限とする。）。			
対象（交付先）	が福祉避難所に指定した施設			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	補助金交付対象施設（指定管理施設を除く）	箇所
			実績	—	1	
			達成率	—	100%	
2		—	目標	—	—	—
			実績	—	—	—
			達成率	—	—	—

補助金	事業経費			市民・議会等から寄せられた意見
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	
交付金額（千円）	—	921	1,000	—
一般財源	—	921	1,000	
国都支出金	—	0	0	
その他	—	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）			他市等の状況 詳細は把握できていないが、近年の災害発生に伴う防災機運の上昇により、各自治体が福祉避難所の開設・運営に係る補助を行っている傾向にある。
	0	1,567	1,717	
	所要人員（人）	0.00	0.20	
	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（補助金+人件費）	0	2,488	2,717	

収入	交付団体等の決算予算の状況			交付団体等の令和6年度の市補助金の使途
	令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	
総額（千円）	—	921	0	交付金額（千円） 921
市補助金	—	921	—	食料・水 47
会費	—	0	—	ポータブル電源 563
繰越金	—	0	—	ソーラー充電器 24
事業収入	—	0	—	段ボールベッド 119
その他	—	0	—	マットレス 112
総額（千円）	—	922	0	毛布 56
支出	交際費、飲食費			割合（％）
人件費	—	0	—	団体収入に占める補助金の割合 100%
事業経費	—	922	—	団体収入に占める繰越金の割合 0%
その他	—	0	—	交付金額に対する繰越金の割合 0%


視点別の分析	市との関与は必要か		見直しの余地がある	
	公益性	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	
効果性	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある	
効率性	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
	類似の補助金との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	
		<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input checked="" type="checkbox"/> 設定していない	
		<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
市と災害時における福祉避難所の開設・運営に係る協定を締結している障害者（児）支援施設2箇所を災害対策基本法に基づく指定福祉避難所に指定した上で、そのうち1箇所に対し補助金を交付した（もう1箇所については、指定管理料の中から物資購入費を支出したため、補助金としては交付していない。）。	—

今後の方針	
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了	今後の方針
今後も引き続き市と福祉避難所の開設・運営に係る協定を締結している事業所との協議を進め、災害対策基本法に基づく指定避難所の指定を行った上で、避難所の開設に必要な消耗品や資機材を購入する費用を補助し、円滑な避難所運営体制を整える。	コスト
	削減 維持 増加
成果	向上 維持 低下
	○

（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	雨水対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	近年の集中豪雨に伴い発生する道路冠水や住宅浸水の被害を軽減することを目的としている。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを		
内容	道路冠水箇所に貯留型雨水浸透槽や浸透柵等を設置することにより、小規模な街区単位での浸水被害の軽減を図っている。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	冠水又は浸水等の被害が発生する道路等の改修件数	件
			実績	1	10	
			達成率	20%	200%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費(千円)		7,990	39,018	8,000	
財源内訳	一般財源	890	3,488	8,000	
	国都支出金	7,100	35,530	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	770	784	859	
	所要人員(人)	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0	
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00	
合計(事業費+人件費)		8,760	39,802	8,859	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
<ul style="list-style-type: none"> 雨水集水ます浸透化工事 2件 雨水管きょ布設工及び雨水人孔設置工 1件 区画一号道路等雨水管整備基本設計委託 等 	公共雨水管が未整備の道路においては、原則、道路用地内に設置する浸透施設で雨水を処理する。 しかし、狭い道路は整備に必要な場所を確保できないことや、雨水量が多く、浸透施設による雨水流出への対処に苦慮する地域もあるため、時間と費用を要する。

今後の方針																			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 本事業は、道路冠水等の被害の軽減を図る重要な取組であることから、今後も継続していく。 排水施設等の設置に当たっては、冠水等の被害状況等を勘案しながらその周辺状況や地形等を考慮し、最大の効果が発揮されるよう、整備すべき道路の施工箇所を決定して解消を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>	今後の方針		コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持		○		低下			
今後の方針		コスト																	
成果	向上	削減	維持	増加															
	維持		○																
	低下																		

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	道路雨水吸込槽浚渫事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	浸透槽の設置により雨水を処理しており、その浸透施設に溜まる汚泥や落ち葉などを定期的に清掃することにより雨水排水の改良を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	浚渫を必要とする浸透施設は125施設あり、そのうち主要施設は49施設で、毎年2回実施している。また、新設及び開発行為に伴う移管施設は76施設あり、3年に1回のローリングで実施している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	浚渫工及び汚泥処分（一式）の実施	—
				実績	実施	
				達成率	—	
2	—	—	目標	—	—	—
				実績	—	
				達成率	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費（千円）		13,939	15,108	16,218		中小の浸透施設は必要に応じて浚渫を実施している。浚渫要望（冠水による苦情）は市民や議員から適宜対応している。
財源内訳	一般財源	13,939	15,108	16,218		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	770	784	859		
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10		
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0		
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00		
合計（事業費+人件費）		14,709	15,892	17,077		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当


令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
●主要施設49か所（年2回） ●新規・移管施設21か所（年1回）	雨水吸込槽は、住宅開発に伴い施工主により設置されその後、市へ移管されることから管理件数は毎年増加している。これに伴い必要経費が増加する。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 道路より地盤が低く冠水しやすい場所が多数存在するため、浚渫により排水施設の機能を確保する必要性は高い。 一方、道路に設置した浸透施設の作業状況を確認する限り、浚渫を実施するほどの汚泥やゴミが認められない箇所もあり、作業頻度など一部見直しを図る必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調書

事務事業の概要	事務事業名	(主) 84号線雨水対策事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263		
	内容	当該路線には排水施設が未整備であることから、本事業により大雨時に発生する道路冠水の解消を図る。 区間：大南四丁目45番地先から同57番地先まで 延長70.5m、幅員4.0mに排水及び浸透施設を設置するもの。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
事務事業の実績	事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	令和6年度の検討状況 (主) 84号線ほか1路線雨水対策工事を実施した。 ・雨水管きよ布設工 70.8m ・雨水人孔設置工 6箇所 ・舗装工231.0㎡
	事業費(千円)		0	8,800	0	
	財源内訳	一般財源	-	8,800	-	
		国都支出金	-	0	-	
		その他	-	0	-	
	会計年度任用職員以外の職員(千円)		77	784	0	
	人件費	所要人員(人)	0.01	0.10	0.00	
会計年度任用職員(千円)		0	0	0		
所要人員(人)		0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		77	9,584	0		
所管課の評価	事務事業の評価			事務事業の今後の進め方		
	【達成度】	<input type="checkbox"/> 目標以上 <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標以下 <input type="checkbox"/> その他 道路冠水の解消を図るため、対策工事を行い当初の目標どおり達成できた。			工事の効果を確認するため、引続き現場を注視していく。	
	【理由】					

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	新青梅街道拡幅に伴う支障物件移設事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	道路法		
目的	新青梅街道の拡幅事業用地内に存する市道区域内に設置されている雨水浸透施設の撤去、移設する。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	新青梅街道の事業用地内に存する現市道に、側溝や雨水施設（吸込槽）が設置されている場所があるため、拡幅事業の進捗に合わせて雨水浸透施設の撤去、移設を行う。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	1	雨水施設の撤去、移設工等（一式）	箇所	目標	—	1	—
				実績	—	1	
達成率				—	100%		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
事業費（千円）		0	5,788	0
財源内訳	一般財源	-	5,788	-
	国都支出金	-	0	-
	その他	-	0	-
会計年度任用職員以外の職員（千円）		0	784	0
人件費	所要人員（人）	0.00	0.10	0.00
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00
合計（事業費+人件費）		0	6,572	0

市民・議会等から寄せられた意見	
—	


視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
	有効性	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
	効率性	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	民間委託等は可能か	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
雨水浸透槽移設工 1基	東京都の整備状況により移設を要請されるため、年度によって実施件数が増減することとなる。

今後の方針			
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了		
本事業は、新青梅街道拡幅事業用地内の市道に設置されている吸込槽が、モノレール建設工事の支障物件となっているため移設するものであり、今後も東京都の新青梅街道整備事業の進捗状況に応じて撤去、移設等を行っていく。			
成果	今後の方針		
	コスト		
	削減 維持 増加		
向上			
維持		○	
低下			

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	(仮称) 防災食育センター整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	教育 部	学校給食 課	— 係 外線 042-5416-9020
	根拠法令等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律		
目的	災害時には応急給食の調理や救援物資(食料関係)の集配などを行う防災拠点として機能し、平常時には小学校給食の調理や食育推進のための事業などを行う(仮称)防災食育センターを整備する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和4年度及び令和5年度に引き続き施設整備工事を実施し、竣工した後、調理機器等全ての物品を納品し、配置を完了させるもの。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	施設整備工事の執行率 (工事総額に対する当該年度実績額の割合)	%
			実績	6.5	86.2	
			達成率	49%	107%	
2	防災食育センター備品整備基金の積立額 (年度末積立総額)	千円	目標	180,000	—	—
			実績	180,000	—	
			達成率	100%	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見	
事業費(千円)		294,967	3,943,681	0		市民・議会等から寄せられた意見 市議会定例会や教育委員会定例会において、各議員等から当該整備事業に期待を寄せている旨の発言があった。
財源内訳	一般財源	87,821	89,717	—		
	国都支出金	39,046	2,995,064	—		
	その他	168,100	858,900	—		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	7,692	7,832	0		
	所要人員(人)	1.00	1.00	0.00		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(事業費+人件費)		302,659	3,951,513	0		

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
令和4年度から実施してきた施設整備工事が全工種ともに工期限までに竣工し、必要な備品類等を年度内に納品させ、令和7年3月に防災食育センター備品整備基金の全額を取崩し、該当備品の財源として充当を完了した。	関係機関及び関係課と連携し、完成した施設を適切に管理し運用していく。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
令和4年度から令和6年度にかけて施設整備工事を実施し、必要な調理機器等の納品、配置を完了させ、令和7年4月より武蔵村山市防災食育センターを開設したことから、事業を終了する。 今後は、防災食育センター施設を維持管理し、設置目的の範囲で適切に運用していく。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	一般河川整備事業				
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策				
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係	内線	263
	根拠法令等	河川法				
目的	市で管理する小河川及び水路について、河床や護岸が未整備である箇所や河川敷から民家へ水が流出する箇所があることから、溢水防止を図るため計画的に整備を実施する。				SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 	
内容	河床や護岸の打設及び老朽化した部分の改修等を行う。					

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	河床及び護岸設置工等（一式）の実施	—
			実績	実施	実施	
			達成率	—	—	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		3,152	2,601	0	
財源内訳	一般財源	752	301	-	
	国都支出金	2,400	2,300	-	
	その他	0	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	1,154	1,175	1,288	
	所要人員（人）	0.15	0.15	0.15	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		4,306	3,776	1,288	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
河川護岸補修工等 3箇所 【参考（令和5年度実績）】 ●谷戸川改修整備工事（457,600円） ●河川整備工事（686,317円） ●側溝蓋改修工事（2,007,964円）	市が管理する小河川及び水路には、未改修のため溢水により住民に被害を与えた場所があり、対応を要する。また、護岸の劣化が進行している場所も散見される。

今後の方針																						
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 小河川及び水路の過小や護岸など季節物件の劣化状況や溢水による被害等を勘案しながら施工場所を選定して整備を図る。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>			今後の方針			コスト			成果	向上				維持		○		低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
（廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要）																						

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	念仏塚橋拡幅整備事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 1 災害対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 264
	根拠法令等	河川法		
目的	東京都では、柳瀬川流域（空堀川）における雨水排水対応雨量を1時間当たり50mmと設定して改修を図っており、当該改修後は川幅が広がるため、既設の道路橋（念仏塚橋）は橋長不足により落橋してしまうので架け替えを行う。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 		
内容	念仏塚橋（RC橋）について、現橋（橋長4.4m×幅員4.0m）を新橋（橋長16.0m×幅員7.2m）へ架け替えを行うものであるが、東京都において河川整備に合わせて工事を施工するため、市は東京都との協定に基づき、負担金を支払う。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	橋梁の架橋（東京都施工）の実施	—	目標	—	—	実施
				実績	—	—	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		

事業経費				市民・議会等から寄せられた意見							
事業費（千円）		令和5年度決算	令和6年度決算	市民・議会等から寄せられた意見							
財源内訳	一般財源	0	17,539	—							
	国都支出金	-	1,839								
	その他	-	15,700								
会計年度任用職員以外の職員（千円）		0	79								
人件費	所要人員（人）	0.00	0.01								
	会計年度任用職員（千円）	0	0								
	所要人員（人）	0.00	0.00								
合計（事業費+人件費）		0	17,618					86			

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
有効性	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>
効果率	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
東京都と「空堀川整備事業に伴う武蔵村山市道橋（念仏塚橋）架替工事の施行及び費用負担等に関する令和6年度協定」を締結し、負担金を支払った。	架替工事については、東京都が河川整備に合わせて施工するため、市は協定に基づき、負担金を支払うものとなっている。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
念仏塚橋の架替工事については、東京都において河川整備に合わせて施工することとなり、東京都に対しては2か年での負担金の支払いが発生する。令和7年度の支払をもって負担金の支払いが終了することとなり、令和7年度末に架橋される予定となっていたが、工事の遅れにより負担金の支払いは令和8年度に延期された。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

（廃止・休止・終了の場合は「0」の記入不要）

武蔵村山市 令和7年度補助金等評価調書

補助金等の概要	補助金等名	消防団準中型・中型免許取得補助事業			
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制			
	所管部署	総務部	防災安全課	消防第一係	内線 333
	根拠法令等	武蔵村山市消防団員準中型自動車及び中型自動車運転免許取得費補助金交付要綱			
	目的	消防団員に対し、その所属する分団に配備されている準中型自動車及び中型自動車の運転資格の取得費用を補助することにより、消防団員の確保を図り、もって消防団活動を安定的に実施する。			SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを
内容	所属する分団に配備されている車両の運転資格の取得費用を補助する。				
対象(交付先)	武蔵村山市消防団員				



評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	補助実績	件
			実績	4	2	
			達成率	100%	50%	
2			目標	-	-	-
			実績	-	-	
			達成率	-	-	

事業経費				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
補助金	交付金額(千円)	621	151	1,024		
	一般財源	621	151	1,024		
	国都支出金	0	0	0		
	その他	0	0	0		
人件費	会計年度任用職員以外の職員(千円)	154	157	172		
	所要人員(人)	0.02	0.02	0.02		
	会計年度任用職員(千円)	0	0	0		
	所要人員(人)	0.00	0.00	0.00		
合計(補助金+人件費)		775	308	1,196		

市民・議会等から寄せられた意見
消防団が継続的に活動できるよう支援していくことを求める意見があった。

他市等の状況
多摩地区26市中8市が同様の補助事業を実施している。

交付団体等の決算予算の状況				令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算
収入	総額(千円)	0	0	0		
	市補助金	-	-	-		
	会費	-	-	-		
	繰越金	-	-	-		
	事業収入	-	-	-		
支出	総額(千円)	0	0	0		
	交際費、飲食費	-	-	-		
	人件費	-	-	-		
	事業経費	-	-	-		
	その他	-	-	-		

交付団体等の令和6年度の市補助金の使途

交付金額(千円)	151
使途内訳	
割合(%)	
団体収入に占める補助金の割合	—
団体収入に占める繰越金の割合	—
交付金額に対する繰越金の割合	—


視点別の分析	公益性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 適合している	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	一般市民にも間接的な受益があるか	<input checked="" type="checkbox"/> 受益がある	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助基準は明確か	<input checked="" type="checkbox"/> 明確である	<input type="checkbox"/> 不明確な部分がある		
	補助金の交付により期待された効果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 効果がある	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	効率性	補助内容や補助額の見直しは可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	補助期間を設定しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 設定している	<input type="checkbox"/> 設定していない		
類似の補助金との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		

令和6年度の実績	補助金交付に当たっての課題
準中型免許(5t) 限定解除: 2件	免許取得に係る消防団員の一時的な費用負担及び免許取得に係る時間の確保などを理由として資格取得希望者が伸びないことが課題となっている。

今後の方針			
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・終了			
本事業は、道路交通法の一部を改正する法律の施行に伴い、新たに創設された「準中型自動車免許」を含む消防団で所有する車両に対する運転資格の取得費用を補助し、消防団活動の安定的な実施を図るものである。消防車両を運転できる団員が減少することは、市の防火体制にも影響するものである。そのため、引き続き当該事業を維持することで消防車両を運転できる団員を確保する必要がある。そのため、補助金交付に当たっての課題として挙げた事項について対応策を検討する必要がある。			
成果	向上		
	維持	○	
	低下		

(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	消火栓改修事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 2 消防体制		
	所管部署	総務部	防災安全課	消防第一係 内線 333
	根拠法令等	上水道における消火栓の設置、維持補修等に関する協定書 上水道における消火栓補償費に関する覚書		
	目的	消火栓の増設及び維持管理により消防施設の整備、充実を図る。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	東京都水道局による上水道への消火栓の設置、維持管理等に関する費用について補償する。			

評価指標	指標名		単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	1	消火栓の設置等の実績	件	目標	—	—	—
				実績	12	12	
達成率				—	—		
2	—	—	目標	—	—	—	
			実績	—	—		
			達成率	—	—		


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		27,190	24,040	32,978	
財源内訳	一般財源	27,190	24,040	32,978	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	2,308	235	258	
	所要人員（人）	0.30	0.03	0.03	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		29,498	24,275	33,236	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	
	市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない	<input type="checkbox"/> 非該当
	受益者負担は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある	<input type="checkbox"/> 非該当	

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
消火栓移設：8件 消火栓補修：4件	消火栓の設置、維持管理等のついて東京都水道局と協定締結し補償費を支払っている。 例年12月頃、東京都水道局から次年度の整備計画とそれらに係る補償費が示されるが、年々補償費が増加している。一方で、市の歳出執行率は過去3年平均値で79.2%と低調である（令和6年度：73.5%、令和5年度：81.7%、令和4年度：82.5%）。

今後の方針																						
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																					
今後、東京都水道局から補償費の提示がなされた時点で、次年度計画の工事内容、実施回数等を聴取することで適切な予算要求に努める必要がある。																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </thead></table>				今後の方針			コスト			成果	向上				維持	○			低下			
				今後の方針																		
		コスト																				
成果	向上																					
	維持	○																				
	低下																					
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																						

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	交通安全対策事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 3 交通安全		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
	目的	小学校の通学路について、毎年関係機関等（警視庁・学校・PTA・教育委員会、防災安全課及び当課）による合同点検を実施し、その改善要望を勘案して交通安全施設を整備することにより道路環境の改善を図る。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを 
内容	通学路合同点検等によって抽出された危険性のある交差点等に①カラー舗装、②道路反射鏡、③自発光板、④外側線、⑤段差等解消等の工事を施工する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	道路反射鏡設置工	箇所
			実績	9	5	
			達成率	225%	125%	
2	交差点改良工事等	箇所	目標	5	5	3
			実績	3	3	
			達成率	60%	60%	


事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		12,345	8,959	9,500	
財源内訳	一般財源	12,345	8,959	9,500	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	0	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	3,846	3,916	4,291	
	所要人員（人）	0.50	0.50	0.50	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		16,191	12,875	13,791	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
・道路反射鏡設置工事 5箇所 ・交通安全施設整備工事 3箇所 （防護柵設置工、薄層カラー舗装工等）	全国的に通学路や幼稚園、保育園付近で発生する重大な交通事故が後を絶たないことから、市民及び議員からの要望が多い。また、安全対策費を要する案件も少なくない。

今後の方針																								
【今後の方向性】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了 安全で円滑な交通環境を確保するため、各種交通安全施設の計画的な整備が求められており、通学路合同点検等によって抽出された危険箇所に対する対策を講じることから、今後も継続する必要がある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)</p>			今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	防犯灯設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	都市整備 部	道路下水道 課	維持補修 係 内線 263
	根拠法令等	—		
目的	照度が低い路線（箇所）にLED防犯灯を設置することにより、夜間に市民が安心して通行できる安全・安心のまちづくりを推進する。		SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	令和6年度末現在で5,089基の防犯灯が設置されているが、一部の生活道路等は未設置である。 防犯灯の設置に当たっては、市民からの依頼を受けた議員要望も多く、順次新設している。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	防犯灯設置工	箇所
			実績	19	6	
			達成率	190%	60%	
2	—	—	目標	—	—	—
			実績	—	—	
			達成率	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		929	498	0	
財源内訳	一般財源	929	498	-	
	国都支出金	0	0	-	
	その他	0	0	-	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	770	784	859	
	所要人員（人）	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員（千円）	0	0	0	
	所要人員（人）	0.00	0.00	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,699	1,282	859	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か		<input checked="" type="checkbox"/>	必要である	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	適合している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input type="checkbox"/>
市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/>	実施している	<input type="checkbox"/>	見直しの余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	
有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/>	影響は大きい	<input type="checkbox"/>	影響は少ない	<input type="checkbox"/>	非該当
	受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/>	適切である	<input type="checkbox"/>	不適切な部分がある		
効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当
	事業費の更なる削減は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当
	類似事業等との統合は可能か	<input checked="" type="checkbox"/>	困難である	<input type="checkbox"/>	検討の余地がある	<input type="checkbox"/>	非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
防犯灯設置工事 6箇所	東京都が管理する空堀川の管理通路に対する設置要望については、区間が長距離に及ぶため、多額の費用を必要とする。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
市民及び議員からの要望により、道路、住宅地、公園等に順次LED防犯灯を設置し、防犯設備の整備及び維持管理に取り組むことにより、市民が安全。安心して暮らせるまちづくりを推進する。																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">今後の方針</th> </tr> <tr> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				今後の方針			コスト			成果	向上	削減	維持	増加	維持			○		低下				
				今後の方針																				
		コスト																						
成果	向上	削減	維持	増加																				
	維持			○																				
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								

武蔵村山市 令和7年度事務事業評価調査

事務事業の概要	事務事業名	登下校路防犯カメラ設置事業		
	施策名称	第3章 安全で快適なまちづくり 第1節 安全・安心 4 防犯対策		
	所管部署	教育 部	教育総務 課	学事 係 内線 422
	根拠法令等	武蔵村山市立小学校の通学路における防犯カメラの管理及び運用に関する要綱		
	目的	学校、地域等が連携して行う登下校時の通学路における児童の見守り活動を補完するため、防犯カメラを設置し、安全確保の強化を図るものである。	SDGsの取組 11 住み続けられるまちづくりを	
内容	各地域において、学校、PTA又は地域により取り組まれている子ども見守り活動（登下校時の見守りやパトロール等）の補完を目的として通学路に防犯カメラを設置する。			

評価指標	指標名	単位	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
				1	防犯カメラの新規設置台数	台
			実績	1	2	
			達成率	50%	100%	
2	通学路上の不審者情報件数	件	目標	—	—	—
			実績	12	11	
			達成率	—	—	

事業経費		令和5年度決算	令和6年度決算	令和7年度予算	市民・議会等から寄せられた意見
事業費（千円）		941	1,210	1,920	
財源内訳	一般財源	941	210	1,920	
	国都支出金	0	0	0	
	その他	0	1,000	0	
人件費	会計年度任用職員以外の職員（千円）	347	470	687	
	所要人員（人）	0.05	0.06	0.08	
	会計年度任用職員（千円）	29	32	0	
	所要人員（人）	0.02	0.02	0.00	
合計（事業費+人件費）		1,317	1,712	2,607	

視点別の分析	妥当性	市の関与は必要か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある
		市民のニーズに適合しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適合している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		市民との協働により事業を実施しているか	<input type="checkbox"/> 実施している	<input type="checkbox"/> 見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
	有効性	廃止・休止した場合の市民への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響は大きい	<input type="checkbox"/> 影響は少ない <input type="checkbox"/> 非該当
		受益者負担は適切か	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		施策への貢献度は適切か	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 不適切な部分がある
	効率性	民間委託等は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当
		事業費の更なる削減は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input checked="" type="checkbox"/> 検討の余地がある <input type="checkbox"/> 非該当
		類似事業等との統合は可能か	<input type="checkbox"/> 困難である	<input type="checkbox"/> 検討の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 非該当

令和6年度の実績	事務事業の推進に当たっての課題
第三小学校区に2台増設した。	防犯カメラの耐用年数は5、6年であるが、防犯カメラの維持管理に係る費用負担の軽減を図る観点から、耐用年数による一律での更新は行わず、毎年保守点検を行い、故障等により修理が必要となった場合は、当該年度内に修理を行っていきたい。

今後の方針																								
【今後の方向性】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止・終了																							
通学路における児童の安全確保のため、引き続き、学校や各機関と連携するとともに、通学路合同点検等の情報を踏まえ、必要に応じて防犯カメラの増設について検討を行う。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">今後の方針</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方針		コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
今後の方針		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(廃止・休止・終了の場合は「○」の記入不要)																								